

 **IAUD** International Association for Universal Design 主催  
国際ユニヴァーサルデザイン協議会

# ユニヴァーサル デザインフォーラム in 札幌

## ワークショップ

**日時：2008年9月23日(火) 8:30~17:50**

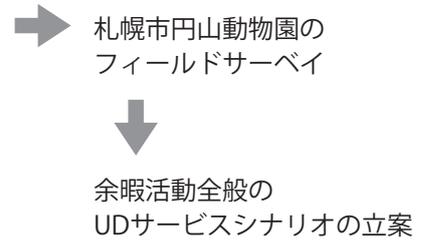
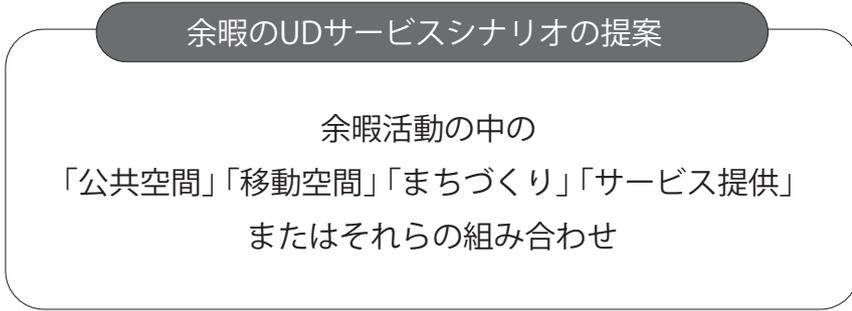
**会場：札幌市立大学 桑園キャンパス + 札幌市 円山動物園**

### ワークショップの進め方

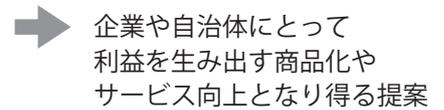
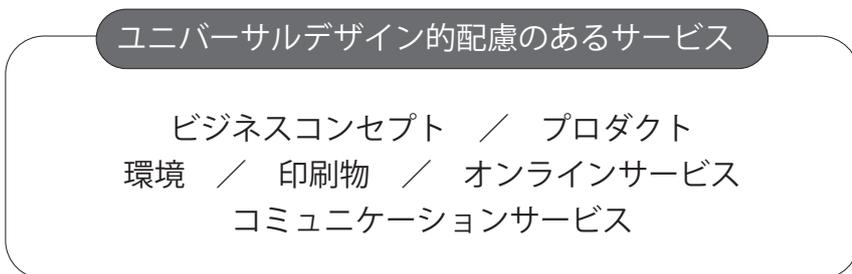
共催：北のユニバーサルデザイン協議会 (NUDA) / 札幌市立大学

後援：北海道庁 / 札幌市 / 北海道経済産業局 / 札幌商工会議所 / 北海道新聞社 / (株)北海道文化放送 / 株式会社大丸藤井

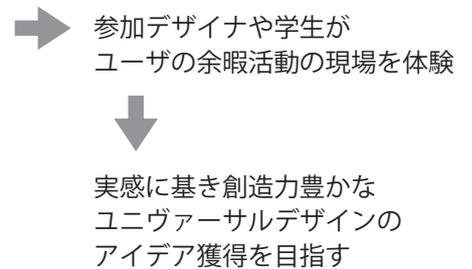
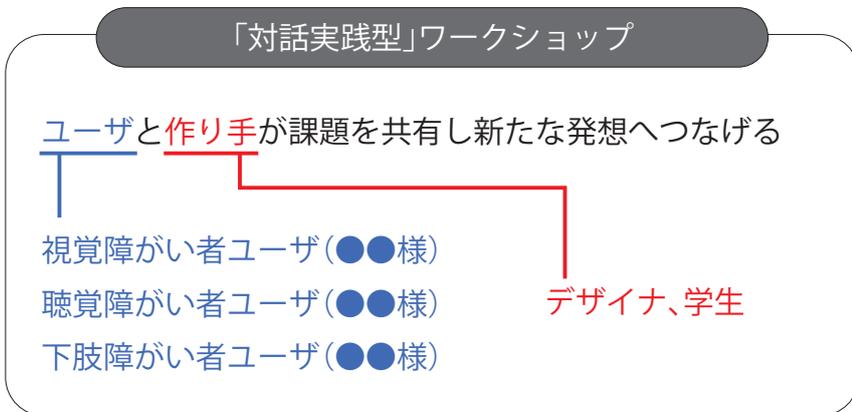
● テーマ



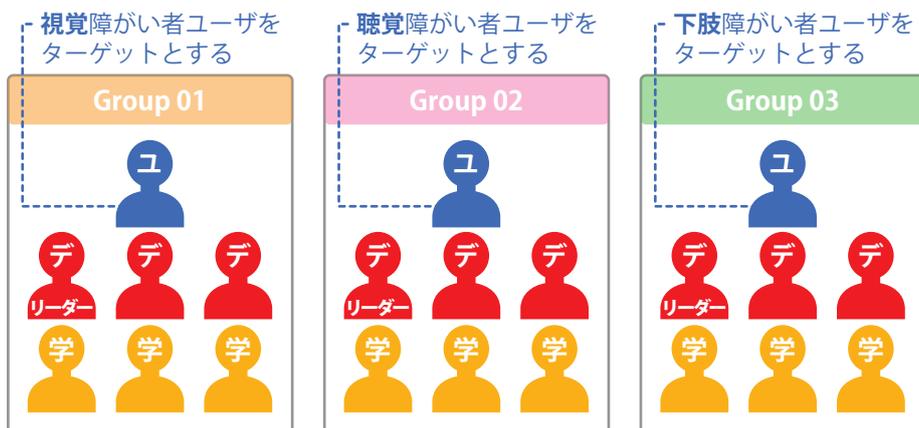
● デザインの対象



● 本ワークショップの特徴

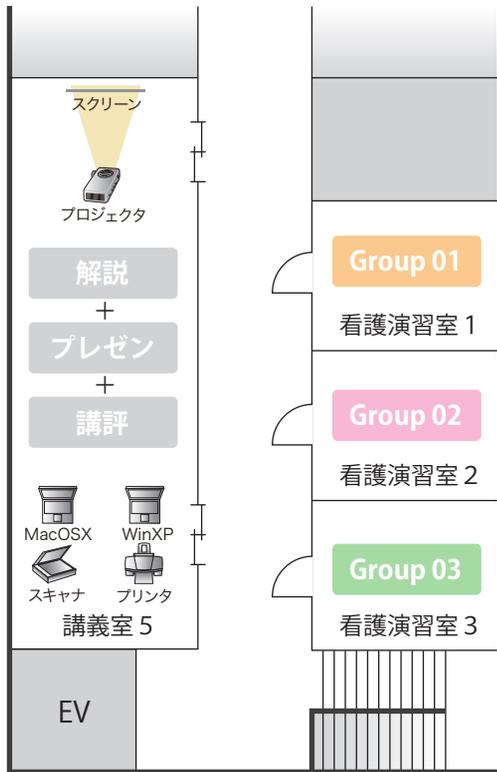


● 参加者構成 (3グループ)

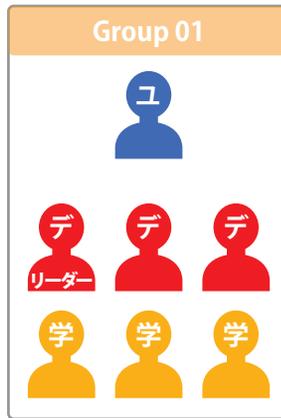


時間	内容	配布資料 (フォーマット)	ステップ	
8:30	■ 開催式			
8:30 - 8:45	<b>15</b> ■ テーマ発表&実施概要説明 酒井教授 参加チーム紹介 各リーダーからメンバー紹介	sheet 00		
8:45 - 9:00	<b>15</b> ■ (ターゲット)ユーザ像(ペルソナ)の明確化 1. ユーザへの身体状況等に関するヒアリング 2. ユーザが日常生活でかかえる問題点のヒアリング	sheet 01	1 準備 へい	
9:00 - 9:20	移動(チャーターバス) <b>20</b>			
9:20 - 11:00	円山動物園園長ご挨拶 <b>100</b> ■ フィールド調査 1,2. 文章(地図)による観察結果(場所)の記録 11:00 - <b>60</b> 3. 手書きによる観察結果のまとめ	sheet 02_a sheet 02_b sheet 02_c		
12:00 - 12:20	移動(チャーターバス) <b>20</b>			
12:20 - 13:00	<b>40</b> 昼食(仕出し弁当) <b>20</b> 4. 観察結果のまとめ(photo essay) <b>20</b> 5. 個人毎の着目点(問題点)の披露とユーザからのコメント	sheet 03 file 01		
13:00 - 13:40	<b>50</b> ■ UDサービスシナリオの立案 1. 共有した着目点群の構造化と解決案の発想 2. 提案するサービスの概要の決定	sheet 04		2 う
13:40 - 15:20	<b>50</b> ■ インタラクションシナリオの作成 1. デザインすべきインタフェースの明確化 2. インタフェースのデザイン案	sheet 05 sheet 06		3 そ
15:20 - 16:00	<b>40</b> ■ コンセプトシナリオ(プレゼンテーション制作) 1. 提案するサービスを魅力的に伝える表現の作り込み	sheet 07 file 02		4 つ
16:00 - 16:30	<b>30</b> 2. プレゼンテーションリハーサル <b>60</b> 3. プレゼンテーション(発表10分/質疑応答10分) × 3			
16:30 - 17:30	桑園キャンパス 3F (講義室 5) <b>20</b> ■ 講評 酒井教授 / IAUD <b>20</b> ■ 閉会式			
17:30 - 17:50				

以下のようなチーム編成で、本ワークショップを実施する。  
また、チーム作業の際には、3室にわかれて作業を行う。



札幌市立大学 看護学部 管理・実習棟 3F

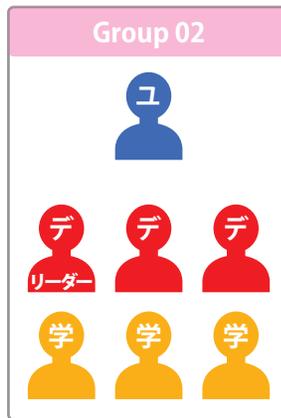


視覚障がい者ユーザをターゲットとする  
Group01

●●●● 様

●●●● 様(日産自動車(株))  
●●●● 様((株)岡村製作所)  
●●●● 様(三菱電機(株))  
●●●● 様((株)日立製作所)

●●●● 様(札幌市立大学)  
●●●● 様(札幌市立大学)  
●●●● 様(札幌市立高専専攻科)

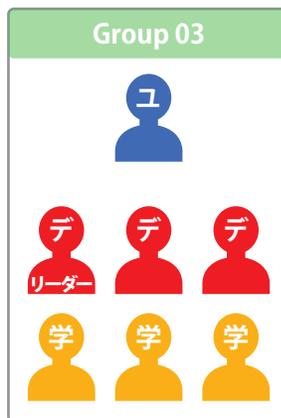


聴覚障がい者ユーザをターゲットとする  
Group02

●●●● 様

●●●● 様(富士通デザイン(株))  
●●●● 様((株)リコー)  
●●●● 様(ソニー(株))  
●●●● 様(トヨタ紡織(株))

●●●● 様(札幌市立大学)  
●●●● 様(札幌市立大学)  
●●●● 様(札幌市立大学)



下肢障がい者ユーザをターゲットとする  
Group03

●●●● 様

●●●● 様((株)東芝)  
●●●● 様(富士通デザイン(株))  
●●●● 様(日産自動車株式会社)

●●●● 様(札幌市立大学)  
●●●● 様(札幌市立大学)  
●●●● 様(札幌市立大学)

- チームリーダー**
- ・W/S開始からプレゼンテーション完成までの時間管理
  - ・プレーストリーミングのリード
  - ・チームメンバーと共に調査とシナリオ立案を行い、プレゼンテーションをまとめあげる。

- ターゲットユーザー**
- ・実際の余暇活動を再現する
  - ・そこでのデザインに関わる問題をリアルに伝える
  - ・シナリオ作りのディスカッションに積極的に参加する

- 参加デザイナー**
- ・ユーザーの余暇活動の現場を体験する
  - ・ユーザーの抱えるデザインに関わる問題を理解する
  - ・シナリオを立案する
  - ・プレゼンテーションをまとめ上げる

- 学生メンバー**
- ・将来のユニバーサルデザインを担う人材となる基礎を学ぶ
  - ・現役デザイナーの活動を補助する
  - ・ディスカッションにも積極的に参加する

本ワークショップでは、ターゲットユーザと、直接コミュニケーションする。

通常のシナリオライティングは、ペルソナ (仮想に想定する詳細なターゲットユーザ像) を設定する。

## 1. ユーザへの身体状況等に関するヒアリング

ユーザの特性	年齢: _____ 性別: _____ 職業: _____ 家族構成: _____
	身体状況: _____
状況説明 移動目的	_____
サポート	補装具: _____ 携帯用具: _____
環境	移動時期: _____ 天候/路面状況: _____

## 2. ユーザが日常生活でかかえる問題点のヒアリング

- 公共移動手段利用時に関する問題点 (バス、電車、地下鉄、タクシー、航空機etc.)
- 生活情報取得に関する問題点 (天気予報、交通情報、特売情報etc.)
- 代表的な余暇の過ごし方と、その際の問題点
- 動植物との触れ合いに関する問題点 (ペット、観葉植物、etc.)
- その他の日常生活での問題点 (天候、昼夜、混雑、etc.)

円山動物園におけるユーザの目的と行動の記録を、文章と写真によっておこなう。

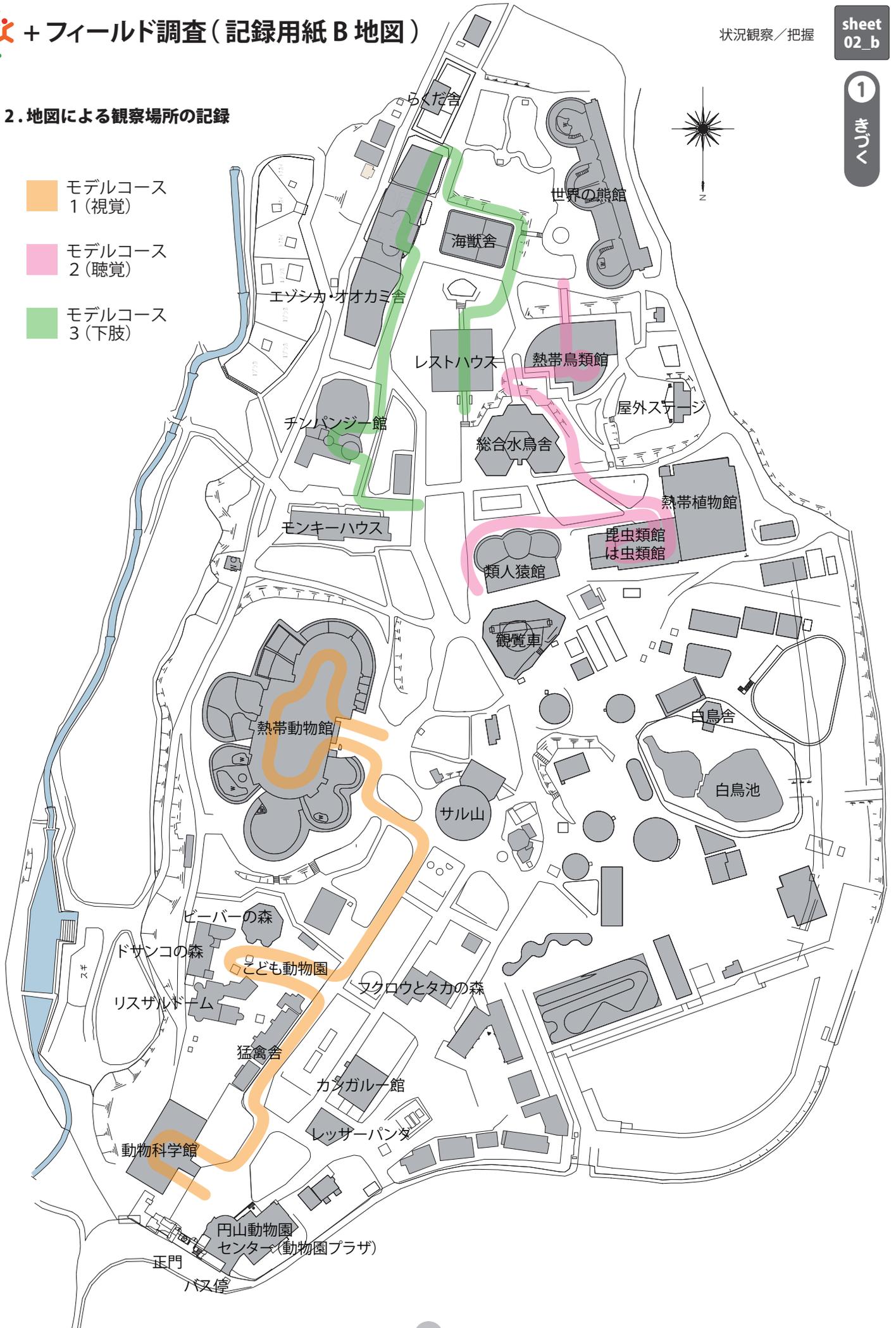
- ・本シートに文章記述を行いながら、写真(なるべくユーザの身体の一部を写しこむ)による撮影を行う。
- ・記録用紙Bの白地図に印をつけるなど、後で再確認のための記録をとる。

## 1. 文章による観察結果の記録

管理番号	Map記号	場所	文章記述	問題点

2. 地図による観察場所の記録

- モデルコース  
1 (視覚)
- モデルコース  
2 (聴覚)
- モデルコース  
3 (下肢)



記録用紙 A,B にて収集した着目点から、2つを厳選し、以下にまとめる。

- ・午前中の最後(園内で)、本紙に(手書きで)まとめをおこなう。  
↓
- ・午後(桑園キャンパスにもどり)、パワーポイントファイルを入力する。

### 3. 手書きによる観察結果のまとめ

事例01

photo

photoファイル名:

場所

文章記述

問題の原因

事例02

photo

photoファイル名:

場所

文章記述

問題の原因

事例01(予備記入欄)

photo

photoファイル名:

場所

文章記述

問題の原因

事例02(予備記入欄)

photo

photoファイル名:

場所

文章記述

問題の原因

(午前中に)円山動物園において、sheet02\_c 紙上手書きでおこなった記録のまとめを、  
パワーポイントファイルに入力する。

#### 4. 観察結果のまとめ(photo essay)

- フィールド調査で撮影した写真 → ①
- 「場所」 → ②
- 「文章記述」 → ③
- 「問題の原因」 → ④

を配布するパワーポイントファイル  
【file01.ppt】のフォーマットに基づきまとめる。

\* 写真を複数枚にするなど、適宜フォーマット  
の変更をすることは可。

#### 5. 個人毎の着目点(問題点)の披露と ユーザからのコメント

個人毎に、パワーポイントファイルで作成した  
ファイルを使って、グループ内プレゼンテーショ  
ンを行う。また、ユーザからのコメントを頂き、着  
目点に対する認識を深め、グループ内で共有する。

\* 1人2分程度の披露と  
ユーザからの1分程度のコメント

file  
01

ユニヴァーサルデザインフォーラムin札幌2008 | ワークショップ

事例01

photo  
1

場所

2

文章記述

3

問題の原因

4

事例02

photo

場所

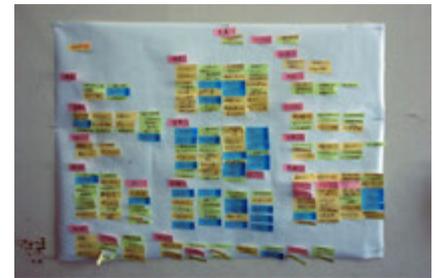
文章記述

問題の原因

ブレインストーミング/KJ法を用いて、「着目点の構造化」、「原因の発見」、「解決案の列挙」を行い、提案するサービスの概要を決定する。

### 1. 共有した着目点群の構造化と解決案の発想

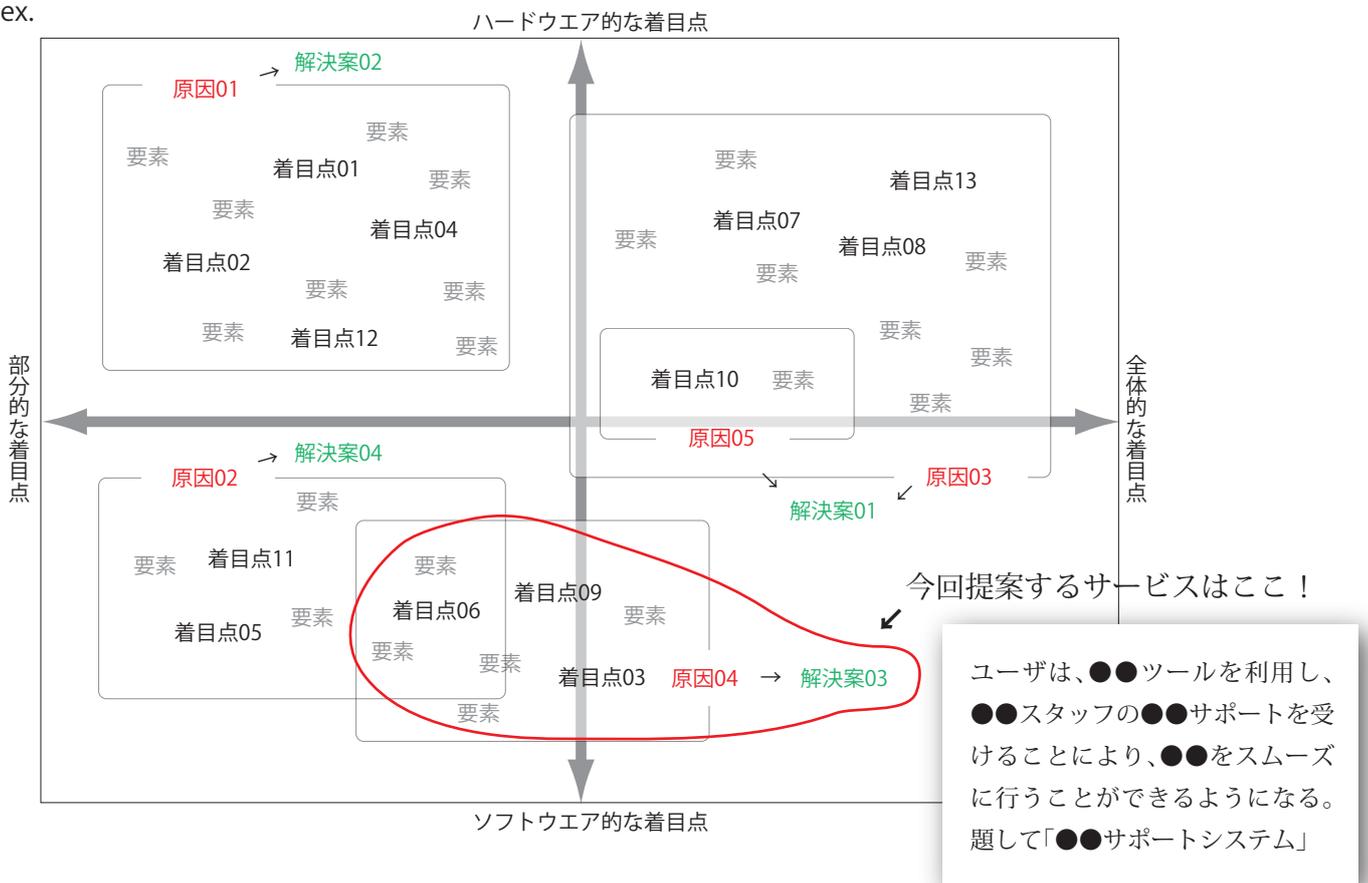
ブレインストーミング法を用いて、先のphoto essayを通して得られた着目点を、配布する付せん書き出し、模造紙に貼付ける。(さらに加えても良い)また、これらの着目点に含まれると考えられる要素を書き出す。KJ法を用いて、着目点の構造化、問題の質の見極め、共通する原因の発見等を行う。以上のプロセスの後、解決案を発想する。



### 2. 提案するサービスの概要の決定

発想した解決案から、今回提案するサービスを1つ選択し、「ユーザに求められる行為」、「必要なスタッフ像」、「必要なインフラ」、「開発すべきツール」などの概要を決定する。

ex.

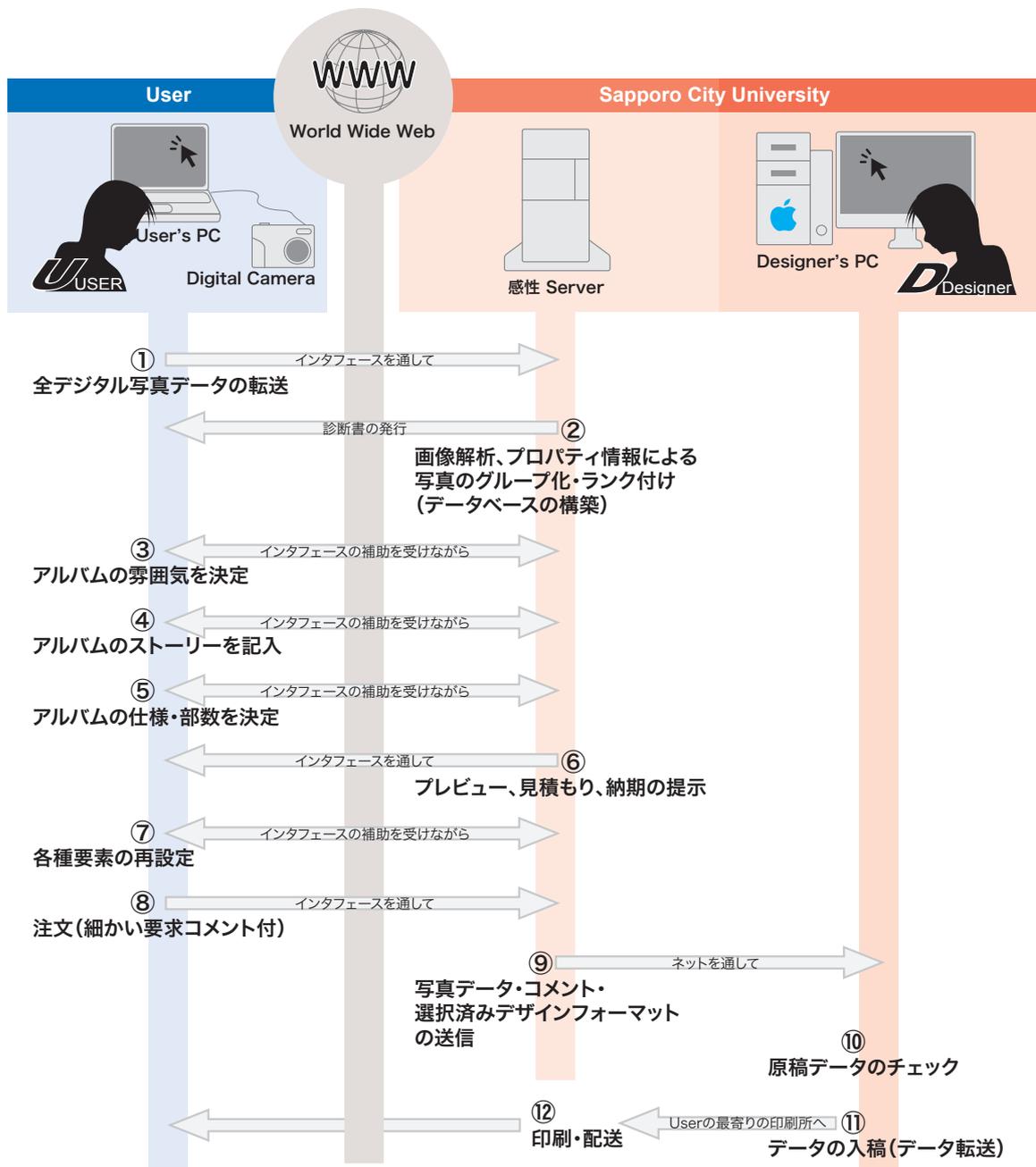


手案するサービスには、どのようなインタフェース(接点)が存在するかを明確にする。

### 1. デザインすべきインタフェースの明確化

「情報はユーザとスタッフ間でやりとりされる」「情報はツールとインフラの間でやりとりされる」など、提案するサービスが具体的に実現される際に、やりとりされる「コト」を明確にする。

#### ex. オンライン自動アルバム作成サービスのフロー

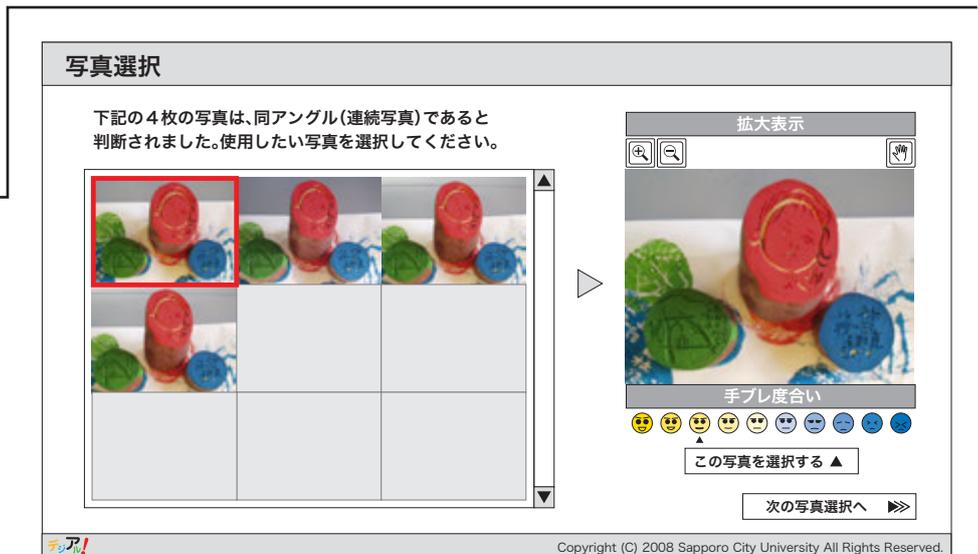


先に想定されたインターフェースの具体的なデザイン案、具体的なサービス案の作成。

## 2. インタフェースのデザイン案

ツールであれば、どのようなボタンがあり、どのような使い方をするのか。乗物であれば、ユーザがどのように乗りどう操作するのか。等、具体的なインターフェースのデザイン案を作成する。

ex.  
オンライン自動  
アルバム作成サービスの  
操作画面デザイン案



STEP 1 >>> 写真の送信・診断
STEP 2 >>> 雰囲気の設定
STEP 3 >>> ストーリーを記入
STEP 4 >>> 仕様・部数の決定
STEP 5 >>> 仕上がり確認
STEP 6 >>> 注文

### アルバムを注文する

アルバム情報確認

アルバムのタイトル:  
花子2008年2月

アルバムのサイズ: A4(幅210mm×高さ297mm)

アルバムのページ数: 12ページ

写真の合計点数: 18点

トリミング加工: 3点

アルバムの部数: 3部

お見積り合計金額: ¥19,800-

お届け予定日: 2005年4月25日午後3時前後

再設定する ◀

お客様のお名前  様

メールアドレス

お客様の郵便番号

お客様のご住所

お客様の電話番号

商品お届け時間指定  ▼

お支払方法  カード払い  銀行振り込み ▶ [詳細はこちら](#)

郵送方法  郵便局  佐川急便 ▶ [詳細はこちら](#)

お届け先のお名前  様

お届け先の郵便番号

お届け先のご住所

お届け先の電話番号

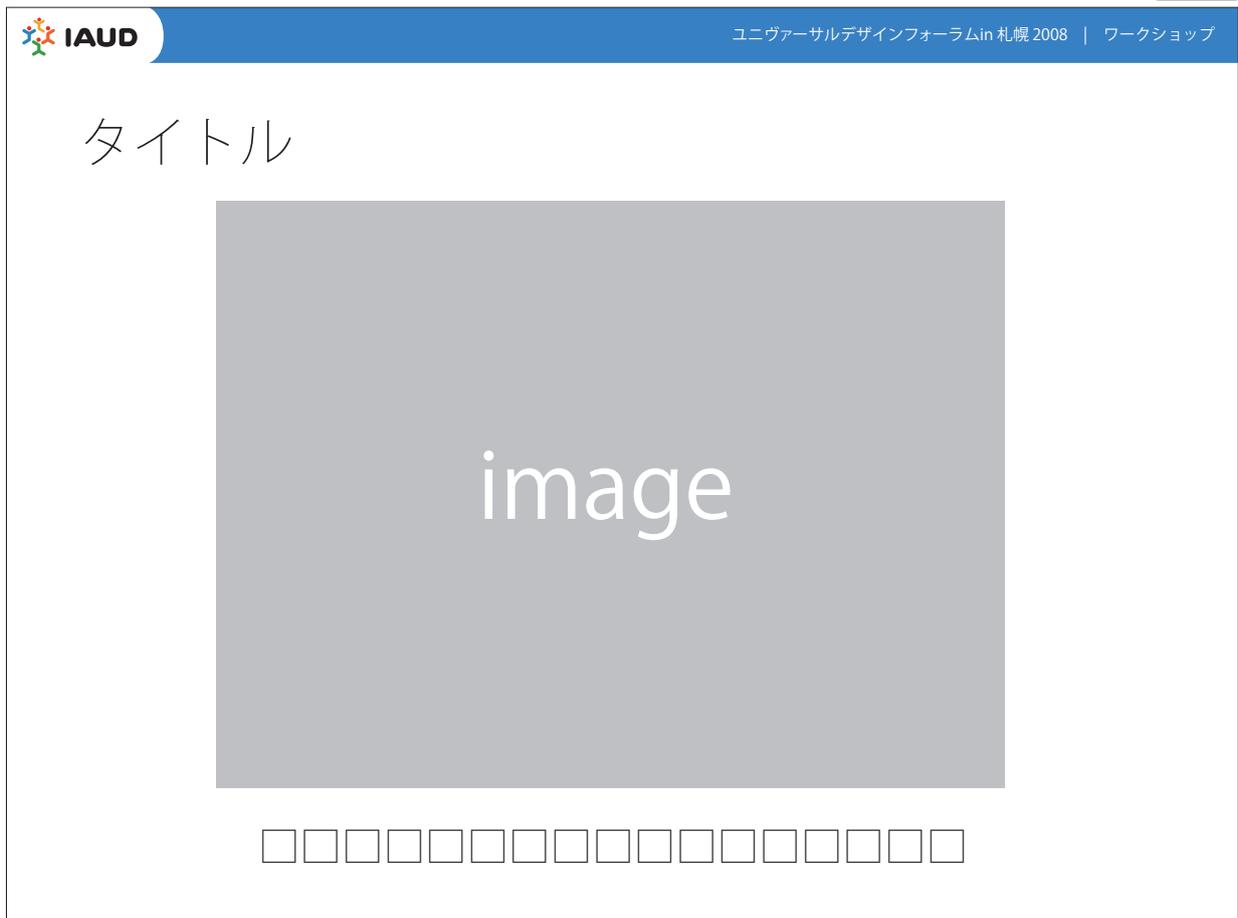
注文 ▲

プレゼンテーションを作成する。

### 1. 提案するサービスを魅力的に伝える表現の作り込み

これまでのプロセスをまとめ、提案するサービスを魅力的に伝える表現の作り込みをおこなう。プレゼンテーションは、PowerPointを用いたものを基本とするが、他の表現手法を用いることも可。

file  
02



### 2. プレゼンテーションリハーサル

リハーサルを行い、最終調整を行う。

### 3. プレゼンテーション

プレゼンテーションは、講義室5にて、  
**各チーム 発表10分／質疑応答10分**  
で行います。

本ワークショップは、短時間で行われるため、具体的なサービスの詳細まで発表することは難しいと思われる。

主に、「新しい着目点を含んだコンセプト」の伝達を目標にしてください。



International Association for Universal Design  
国際ユニヴァーサルデザイン協議会



北のユニバーサルデザイン協議会  
Northern Universal Design Association



札幌市立大学  
SAPPORO CITY UNIVERSITY

2008.09.23